

研究協力をお願い

昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院および昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

機械学習・深層学習を用いた統合的な周産期医療システムの開発

1. 研究の対象および研究対象期間

2002年1月以降に昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学江東豊洲病院の産婦人科を受診された妊婦（赤ちゃん）の方

2. 研究目的・方法

妊娠中の超音波検査で赤ちゃん（胎児）の情報を得ることで、疾患を早期に診断し、新生児治療へスムーズに移行することは生まれる赤ちゃん（新生児）にとって大きなメリットとなります。出生時に最も頻度の多い心臓病（先天性心疾患）は、胎児期での診断が難しく、其の発見及び診断成績は不十分です。本研究の目的は、人工知能技術を応用し先天性心疾患の早期発見システムを開発することです。その成果は製品として広く提供し、周産期医療の発展に貢献します。このシステム開発には大量の超音波画像と臨床情報を必要とします。そこで、当院の産婦人科に通院の妊婦（胎児）さんの全超音波画像情報及び臨床情報を利用させていただきます。超音波検査は通常診療で行われる範囲のものであり、患者さん及び赤ちゃんに負担がかかるものではありません。妊婦健診で行われる超音波検査画像データを解析に用います。

個人情報を保護するため、取得した画像情報は個人が特定できないような加工を行います。また、診療情報に独自の符号を付し、独自の符号と個人を識別できる情報を照合できる表（対応表）を作成した後に、個人を識別できる情報を削除します。対応表を参照しなければ、どの個人の情報が直ちに判別できない情報に加工します。対応表は暗号化し、昭和大学医学部産婦人科学講座にて施錠保管します。符号化された診療情報も第三者が閲覧できないように管理します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：超音波検査画像情報、電子カルテ情報（年齢・身体所見、病態（診断名）診療後の経過情報（治

療・予後))

5．外部への試料・情報の提供

昭和大学より国立がん研究センターへ情報提供し、国立がん研究センターにてデータ収集・統合を行います。

その後、理化学研究所・富士通 Japan 株式会社にてその統合データを解析します。

6．研究組織

研究実施機関：学校法人昭和大学

共同研究機関：国立研究開発法人理化学研究所 革新知能統合研究センター

共同研究機関：国立研究開発法人国立がん研究センター研究所

共同研究機関：富士通 Japan 株式会社

研究実施施設・研究責任者：昭和大学医学部産婦人科学講座 准教授 松岡 隆

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当医師：昭和大学医学部産婦人科学講座 准教授 松岡 隆

住所：〒142-8666 品川区旗の台 1-5-8

電話：03-3784-8551（平日 10:30～17:00 土曜 10:30～13:00）

研究責任者・研究代表者：昭和大学医学部産婦人科学講座 准教授 松岡 隆